



新聞



『特集 農的暮らし』

第5号

いつもの毎日に、土と軍手と長靴を

自分の食べるものを自分で作ることができたら、素敵だと思いませんか？ 今回の特集では、農的暮らしをはじめようかな、というみなさんを応援しています。これを手にとったあなた！もうすぐ春です。はじめの一步、ふみだしてみませんか？

ええやんヒューマン Vol.5



誰かのために 何かのために 活動している人を紹介します。

吉松敬祐さん

よしまつけいすけ / 1941年生まれ。山口市阿東徳佐(旧阿武郡徳佐村)出身。同在住。高校生のころから環境や食品添加物問題に関心をもつ。山口県農業試験場在職時に「山口県環境保全型農業推進研究会(山口環保研)」と出会う。退職した今も環保研を通じて、環境を守りながら農業を行う技術の普及や、情報発信を行っている。

吉松農園
〒759-1512 山口県山口市阿東徳佐中1297
Tel : 083-956-0511

「農的暮らし」ということばをご存知ですか？ 自分で食べるものを自ら作ることで、自然を意識する暮らしのこと。健康な食生活をそこに求める人もいれば、土を触ることで気持ち癒されるという人もいて、この暮らしに注目が集まっています。今回ご紹介する吉松さんはこの生き方のエキスパート。農薬も化学肥料も使わない「有機農業」を長年研究されています。「農的暮らし」の究極の形の一つ「有機農業」の研究を始めようと思っただけか、これからの農業の展望など、お話を伺いました。



有機農業で世の中を変えていく。その思いはずっと変わりません。

高校で化学部に在籍し、榎野川の水の分析や食品色素の研究をしていました。川の汚染は家庭排水が原因であることをつきとめ、新聞の懸賞論文で表彰されたこともありました。今から50年近く前のことです。

まだ環境や食品添加物への世間の関心が薄いころから、そういうことに興味があったんですね。また農村出身だったこともあり、化学好きを活かした職に就きたいと考えて、香川大学農学部農芸化学科卒業後、地元に戻り山口県農業試験場に就職しました。

当時は60年安保の只中で、私も労働運動にはまっていました。当時は世の中を変えていこうという機運があり、若い人が意見をいい、その声に耳を傾けるという世間の寛容さがありました。

有機農業との出会い

有機農業に出合ったのは40年ほど前のことです。「沈黙の春」という農薬や化学薬品が生態系を壊していくことを告発した本に出合ったのがきっかけでした。

若いころから環境問題に興味をもち、労働運動を通じて社会の矛盾に憤っていた私は、独学で有機農業を学びました。

これは、農薬も化学肥料も使わずに行う農業のことです。知識が乏しかったころは、虫食い状態の野菜ができてしまつて、路面販売でも売れずに苦労しました。

有機農業にこだわる理由

そういう思いをしても、この方法

にこだわる理由。それは「原罪」という意識があるからだと思えます。

人類は定住し田畑を耕すことで生産が増え、文化が興りました。それは、人は自然を傷つけることで生きていくということでもありません。

だから環境に与える影響を減らしていこう。そういう農業を目指しているんです。

今では、野菜は化学肥料を使わずに安定して収穫できるようにになりました。虫が発生する時期に作物をつくらないなど、農薬を使わずにすむよう工夫をこらしています。

この農業は生産性が高いわけではなく、作物の値段が高くなる傾向にあります。でも、支援という意味でもこちらを選んでもらいたいと思っています。

有機農業は食の安心・安全だけではなく、自然環境を守るために行っています。社会に働きかける、世の中を変えていくという思いは、若いころからずっと変わっていないんですよ。



あいがも農法も有機農業の一つ。下草を食べることで、ぶどう棚の環境を整えている。

元気な野菜をいただきます

読者の皆様へのプレゼントがあります。詳しくは4Pをご覧ください。

野菜工房 (やさいこうぼう)

山口市中央5丁目2-37
TEL 083-928-6830
営業 9:30~18:00
※ 日曜日



3名さまプレゼント 季節のお野菜セット (3~4点)
※撮影したのは11月です。

4周年を迎えた野菜工房。有機・無農薬野菜を中心に、加工食品、お弁当など、安全で安心なものがそろっています。地産地消も大事だけれど、そうするに店頭には並ぶ野菜は同じものばかりに。だから、同じ季節でも収穫するものが異なる県外産も取り扱い、常にいろいろな野菜(しかも安全)を提供できるようにしています。買うときに参考にしたいのがオリジナルのラベル。農薬と化学肥料の使用回数が見てわかる。すぐれものです。

「ここで買えば安心!」と思ってもらえるお店にしたい、という店長さんは野菜ソムリエ。野菜の使いかた、調理方法など、わからないことはなんでも聞いてみて、野菜工房の野菜と無添加調味料を使用した、直営オリジナル&地産地消レストラン「野菜畑」こちらまでぜひ。

ゆめ工房 華茶屋 (ゆめこうぼうはなぢや)

山口市阿東徳佐中
TEL 083-957-0681
営業 月・金/11:00~14:00 土・日・祝/11:00~15:00
※ 火・水・木(冬季休業) ※ 火・水・木はそば打ち体験可、要予約。

おばあちゃんの手作り フクロウマスヨット

5名さまプレゼント



地元的女性グループが「阿東のよさを伝えたい・生きがいになって集まれる場所を」と9年前にオープン。はじめる前は「わたしら何の病気で死ぬかねえ」と話していたメンバーも現在は平均年齢75歳。「忙しくて病気のこともなかなか言うものはおらんかったそうです。その日必要な分だけのそば粉を引いて、注文をうけてから打つ阿東徳佐産100%の素材をそばが自慢です。また、阿東産の食材にこだわった人気地産・地消メニュー「食彩ゆめ定食」は、税込900円数量限定です。お食事処の他に、地元野菜の販売や、地域の女性手作りのお土産も販売。100歳のおばあちゃんが手作りするお土産も必見です。

山口市阿東徳佐中
TEL 083-924-2532 (今井)
http://blog.canpan.info/nouen/

市民農園を借りて、挑戦してみよう！ 阿東ふるさと交流農園 (NPO 法人あとう観光協会)

	借りられる面積	年間利用料
露地農園	27㎡から51㎡	3,000円~4,000円
ハウス農園	100㎡	15,000円

※2月頃から募集開始。3月の市報に案内が掲載される予定。4月から3月末までの利用。

山口市阿東徳佐中3628
TEL 083-956-2194
mailto:atofuru1@e-able.ne.jp



市民農園場所

- A 阿東ふるさと交流農園 阿東徳佐
- B 奥湯田ふれあい農園 宮野上
- C めくもりの里農園 下小鯖
- D 郷上の里農園 陶
- E 畑楽会農園 鑄銭司
- F 藤尾農園 深溝

山口市には、いくつかの市民農園があります。近くの畑を借りて、農業体験してみたい方は、料金などくわしいことは山口市経済産業部農業振興課までお問い合わせください。

山口市経済産業部農業振興課
TEL 083-934-2891
FAX 083-934-2651

有機農業に興味のある人集まれ！ 山口県環境保全型農業推進研究会



2011年の主な活動

- 1月 総会・望年会
- 3月 環境保全型農業フォーラム
- 6月 2年3作部会
- 7月 夏季研修旅行(九州阿蘇地域)
- 8月 秋野菜づくり研修会
- 11月 自然農法部会見学会(県西部4ヶ所)

TEL 083-901-1166 (さばらんで気付)
mailto:kanpokeni@gmail.com
「かんぽけん」で検索

今回の「ええんビープル」に登場していたいた吉松さんが事務局長を務めている団体です。山口県下150名ほどの会員数で、農的暮らしに興味のある人や、専業農家も入っているのが特徴です。発足から20年。もともとはあいがも農法の研究会からスタートしました。環境を守るために、化学肥料や農薬などを使わずに行う「有機農業」の普及をすすめています。この農業にはマニュアルがないので、技術力を上げるためにはいろいろな人と交流する必要があります。そこで講習会を開いたり研修旅行に行くなどして、知識を深めています。



やまぐち就農支援塾 山口県立農業大学校

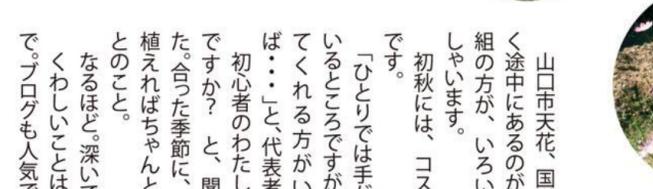


平成23年度は、年間コースでは野菜ビギナー・野菜セミナー・果樹があり、2日間の短期では秋冬野菜・春夏野菜に取り組みました。講座と実習があり、本格的に農業に取り組み予定の人が対象です。詳しい金額や内容はホームページを見てください。また農協や市町の農業関係の窓口にも案内が掲示されます。

防府市大字牟礼318番地
TEL 0835-38-0510
「山口県立農業大学校」で検索

ええん新聞では、農を生活の中にとり入れることができる、様々な活動や場所を取り上げてみました。「イベント」として農を体験したい、とりあえず自分でつくってみたい、より安心・安全なものをつくりたい、農を職業として学びたい、いろいろなレベルの農的暮らしを紹介しています。「耕す」ということを通じて、生産・収穫する喜びだったり、人とのふれあいや、農が地域や社会とつながるきっかけにならう。

野菜たちがぴーちくぱーちく?! おしゃべり農園



山口市天花、国道から山の方へあがっていく途中にあるのがおしゃべり農園。現在、7組の方が、いろいろな作物を育てていらっしやいます。

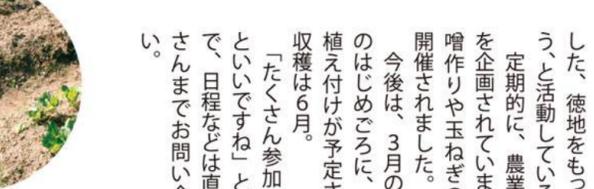
初秋には、コスモスが咲き誇る広い土地です。「ひとりでは手がまわらないので、荒れているところですが、お手伝いしてくれる方がいらっしやれば...」と、代表者の今井さん。初心者の方でも、大丈夫ですか? と、聞いてみました。合った季節に、合ったものを植えればちゃんと育つので、とのこと。

なるほど。深いですね。くわしいことは、今井さんまで。ブログも人気です。

山口市天花、国道から山の方へあがっていく途中にあるのがおしゃべり農園。現在、7組の方が、いろいろな作物を育てていらっしやいます。

TEL 083-924-2532 (今井)
http://blog.canpan.info/nouen/

農からつながるまちづくり 徳地づくり達人塾



ええん新聞第2号で紹介した、徳地をもっと元気にしようという活動している団体です。定期的に、農業体験イベントを企画されています。冬には、味噌作りや玉ねぎの植え付けが開催されました。

今後は、3月の終わり〜4月のはじめごろに、じゃがいもの植え付けが予定されています。収穫は6月。

「たくさん参加してください」といいますね。とのことですので、日程などは直接担当の増田さんまでお問い合わせください。

TEL 0835-56-0672 (増田)
http://tokudzukuri.soreccha.jp/

今日から始めるグリーンライフ NPO 法人やまぐち里山環境プロジェクト

道の駅仁保の郷から北東に車で15分進んだところ、お椀プール近くの大富地区が「やまぐち里山環境プロジェクト」の活動している地域です。

大人を対象にした食農体験としてはじまった「今日から始めるグリーンライフ」は、月約1回の農業体験を3月から12月の間で実施。季節の野菜の植え付けや収穫のほかに、夏は流しソーメンをするなど、子どもから大人まで楽しめる内容となっています。

□ コミで募集定員を超えるため特にこれまで広報をしたことはないという人気が。平成24年4月に交流農園も開園予定。

来年の活動予定はホームページをご覧ください。

山口市仁保上郷大富クラインガルテン大富
blackbullmou@yahoo.co.jp
「やまぐち里山環境プロジェクト」で検索
※2月1日現在リニューアル中



さぼらんて

おかげさまで
10周年

2011年12月1日に官設民営型(行政設置・民間運営)で山口市の中心商店街に山口市民活動支援センターさぼらんてがオープンして10周年を迎えました。これまでの利用者24万人の方のまちづくりへの思いに触れ、感動し、元気をもらい、山口市の未来に希望を抱きながら10年間を過ごせたことをスタッフ一同心から感謝申し上げます。

みなさんは普段、「あれっ?これって不便だ」「こうした方がもっといいのに...」「困りごとを抱えている人が安心して生活できるように何かしたい」と思うことはありませんか?気付いたことをきっかけに、自分たちで考え、行動していくのが市民活動なのです。児童虐待や自殺の報道が後を絶たず、これまでの官が行う対症療法では限界があります。それらの社会背景に思いを馳せ、誰もが安心して心豊かに暮らしていけるように「頑張っている市民団体」と、「社会の課題がなんとなく気になっていて、何かしたいと思っている人」を応援しているのがさぼらんてなのです。

これからも『私から始まる活動展開のしくみづくり』をめざして情報発信力や組織基盤の応援をしていきますので今後ともよろしくお願いいたします。



さぼらんて

「あなたの得たい情報にきっと出会える!」
さぼらんてHP。現在進行中!

- 「さぼらんてとは?」 → 市民活動の意義、役割、さぼらんてのサービス案内
- 「お知らせ」 → ホットな市民活動支援情報や山口市の市民参画情報などの情報提供
- 「まちさぼらんて」 → 市民団体からのお知らせや、活動レポートを写真付きで発信
- 「カレンダー」 → 市内各地で開催される主に市民主体のイベントを中心に情報発信
- 「さぼレポ」 → さぼらんてのこれまでの講座レポート
- 「広報誌」 → さぼらんてだよりなどの広報誌のバックナンバー
- 「助成金」 → 県内外の助成金情報を年間100件以上掲載
- 「リンク」 → 市内のまちづくり組織や全国・県内のNPO支援機関など
- 「さぼろく」 → スタッフが日々感じたこと、素敵な出来事など等身大の市民活動を発信



山口市民活動支援センター さぼらんて
●住所…〒753-0047 山口市道場門前1-2-19
●TEL…083-901-1166
●FAX…083-901-1165
●Eメール…saporant@c-able.ne.jp
●HP…http://www.saporant.jp

市民広報記者編集後記 わたしたちのPHOTO日記

「農的暮らし」

市民広報記者とは…NPOや市民活動に関心のある市民を募集し、誰かのために何かのために活動している人たち取材してくれた人たちです。読んで下さった方「まちっておもしろい、私もやってみたい!」と思ってくれたらうれしいな♪



次号は宮野・大殿・小鯖に配布予定です。お楽しみに♪

PIKA★PIKAムービー 震災遺児支援プロジェクト

前号でお知らせした「PIKA★PIKAムービー 震災遺児支援プロジェクト」。ただいま企画進行中です。

これは光で絵や文字を描き、それを動画(ムービー)にするという計画のこと。「世界に一つだけの花」の歌詞を一文字ずつ参加者の方に書いていただいたり、歌ってもらったりというイベントを重ね、一つの動画を作り上げます。

イベントはチャリティの形をとり、皆様からいただいた志は「あしなが育英会」の「東日本大震災 津波遺児への募金」に全額寄付させていただきます。



2011年7月に行われたピース★バンビーノさんのイベントでの作品です

すでに2011年夏ごろからイベントを重ね、画像や歌声を集めています。寄付金額の報告やイベントの様子などは「さぼろく」にアップしていますので、こちらを読んでみてくださいね。

完成したムービーは3月11日、さぼらんてで開催予定の「東日本大震災復興チャリティイベント(仮)」にて発表する予定です。その後はYouTubeで公開する予定です。「PIKAPIKA 世界に一つだけの花」で検索してください。

山口から被災地へ。みんなの思いが一つになった作品をぜひ見ていただけたらと思います。

3/11(日)
★
東日本大震災復興チャリティイベント
★
開催予定

ええやん新聞PIKAPIKA実行委員会

質問に答えて
こだわりのプレゼントをもらおう

プレゼント応募要項

3ページで紹介したお店からおすすめ商品を抽選でプレゼントします。ハガキに以下を明記の上ご応募ください。

- 1.郵便番号・住所・氏名・年齢・職業・電話番号
- 2.希望する商品名
- 3.山口市民活動支援センターさぼらんてを知っていますか?
①よく知っている ②名前だけ知っている ③知らない
4. ええやん新聞を手に入れた場所(お店・施設等)をお答え下さい。
5. 下の表の中から印象に残った記事1つとその感想をお答え下さい。

①ええやんビープル	②はじめてみよう農的暮らし
③つながるお買い物	④PIKAPIKAムービープロジェクト
⑤その他(具体的に)	
6. 取り上げて欲しいテーマ・市民活動団体があればご記入下さい。
7. ご意見・ご要望がありましたらご記入下さい。

ご記入をいただいた個人情報は、当選ハガキをお届けするために利用し、その目的以外での利用はいたしません。
●宛先は、〒753-0047 山口市道場門前1-2-19 山口市民活動支援センターさぼらんて「ええやん新聞プレゼント」係。●締めきりは2012年2月末日(当日消印有効)●当選者の発表は、当選ハガキ(引換券)の発送をもってかえさせていただきます。



紙面レイアウト・デザイン・イラスト / 山寺わか